

24
モ一七
聖徒伝 50

「喜び樂しみ 大いに喜べ」

申命記12～16章

主の礼拝に関する諸規定

申命記④

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. ただ一つの神の宮 12章

II. 死を招く偶像礼拝 13章

III. きよさとけがれ

十分の一のささげ物 14章

IV. 負債の免除 奴隷の解放 15章

V. 三大祭 16章

VI. まとめと適用

律法も恵みだと知ろう。

喜び楽しみ、大いに喜べ。



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

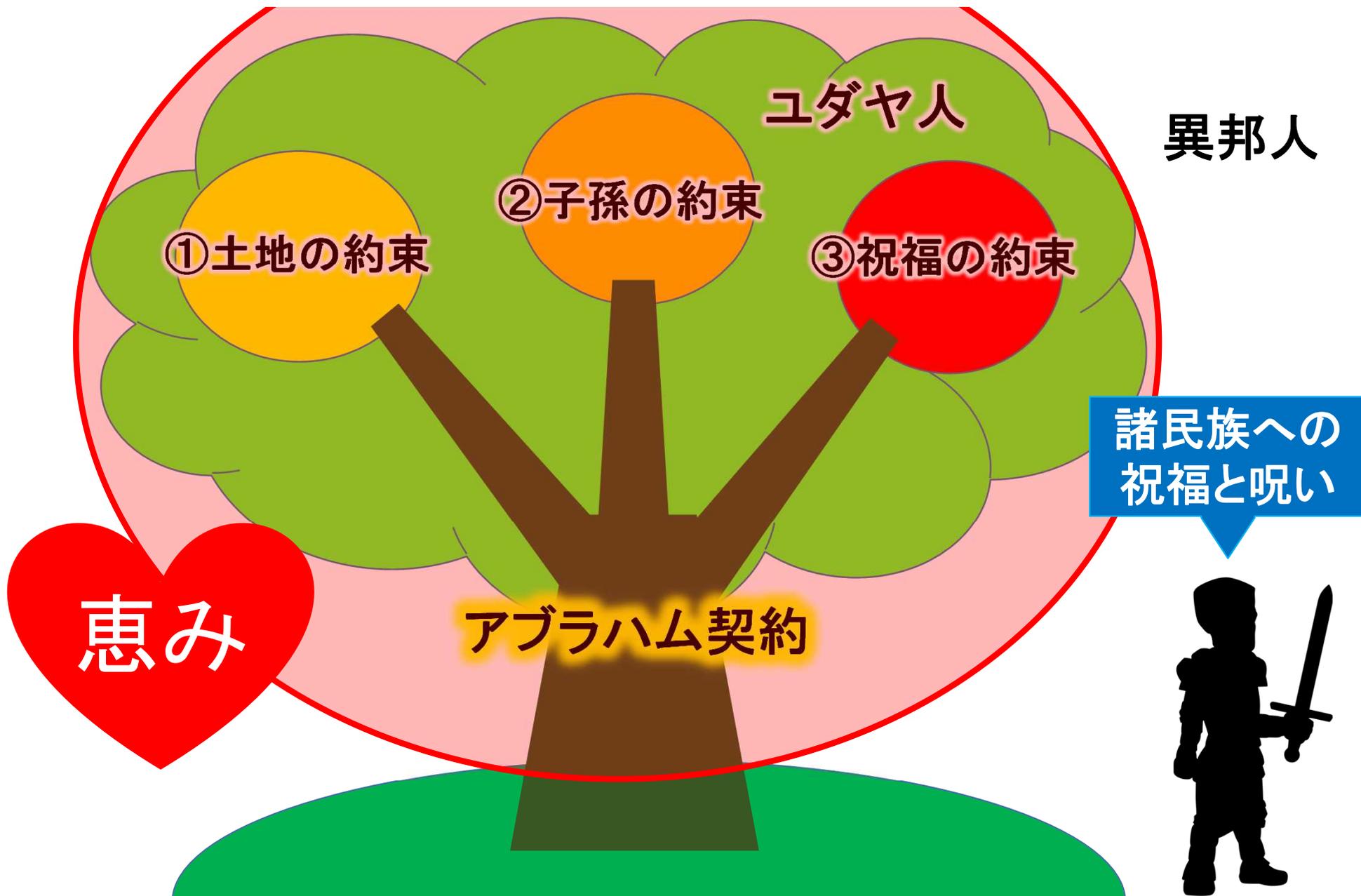
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

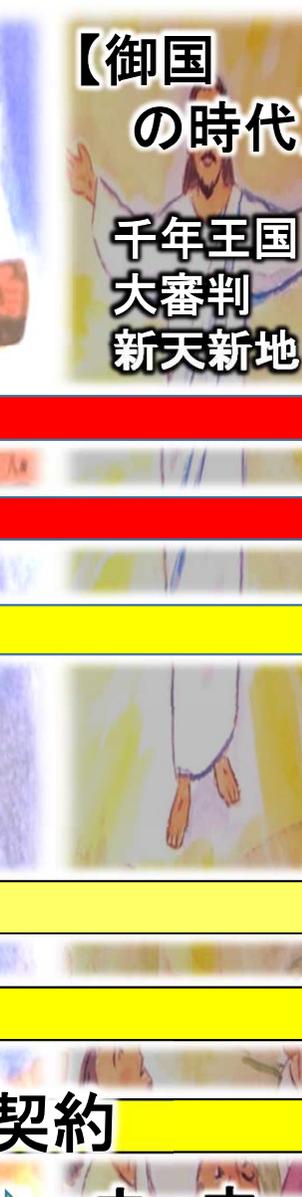
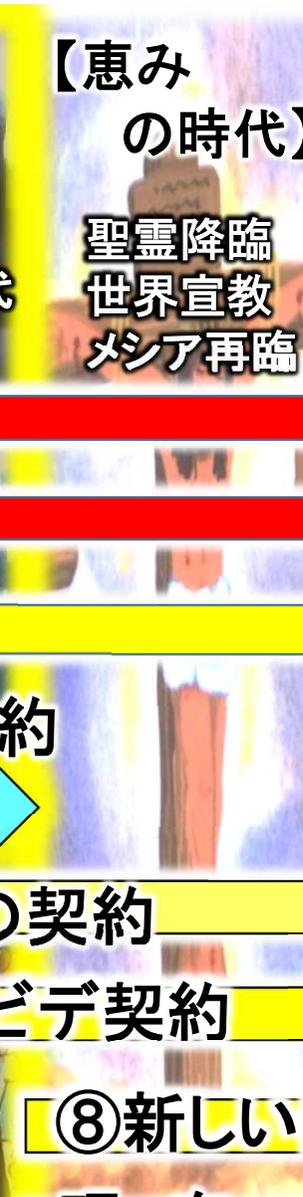
※しるし ...割礼

イスラエルを
守り導く土台



【アブラハム契約】





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

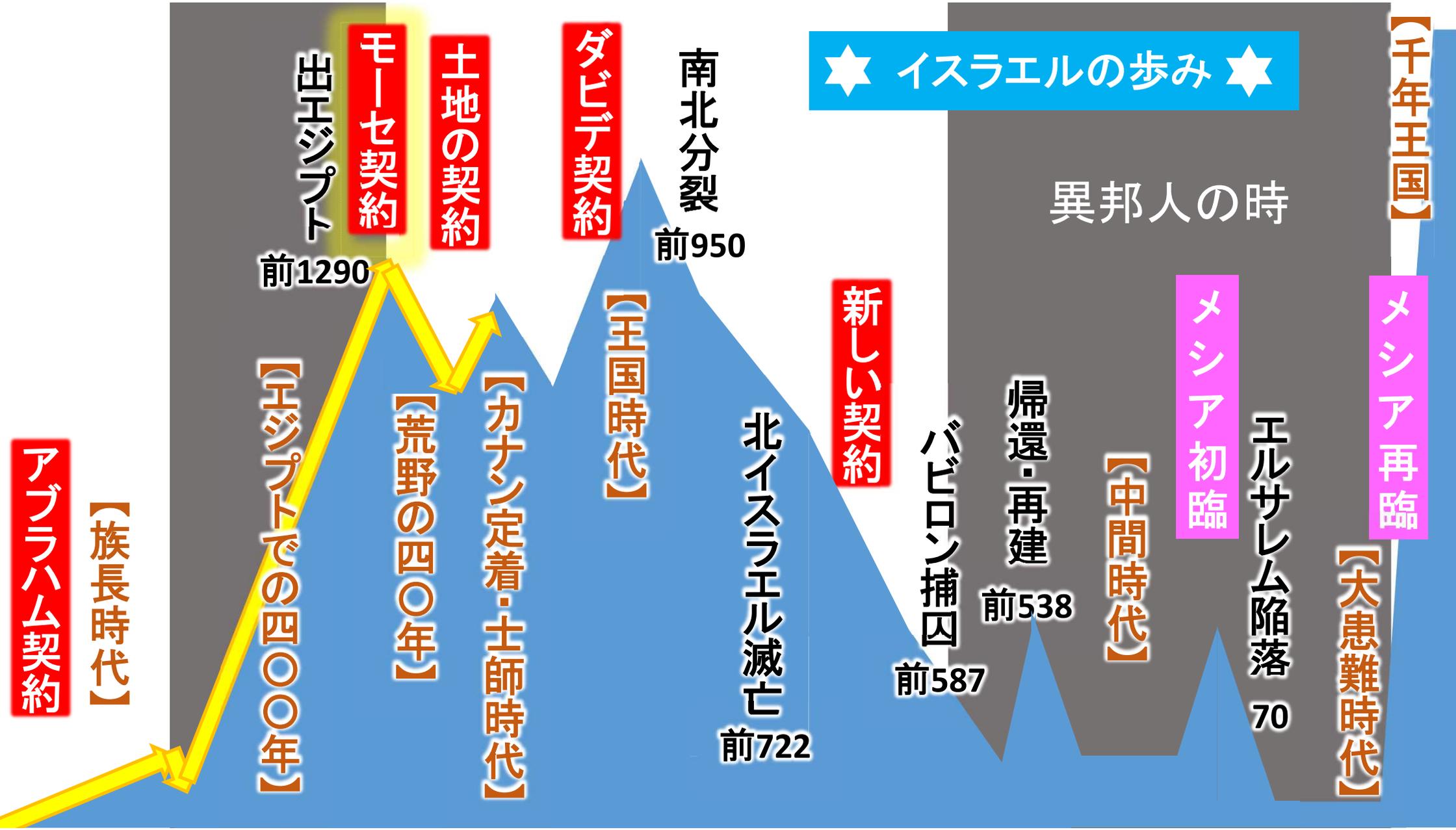
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

前1290

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

北イスラエル滅亡
前722

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

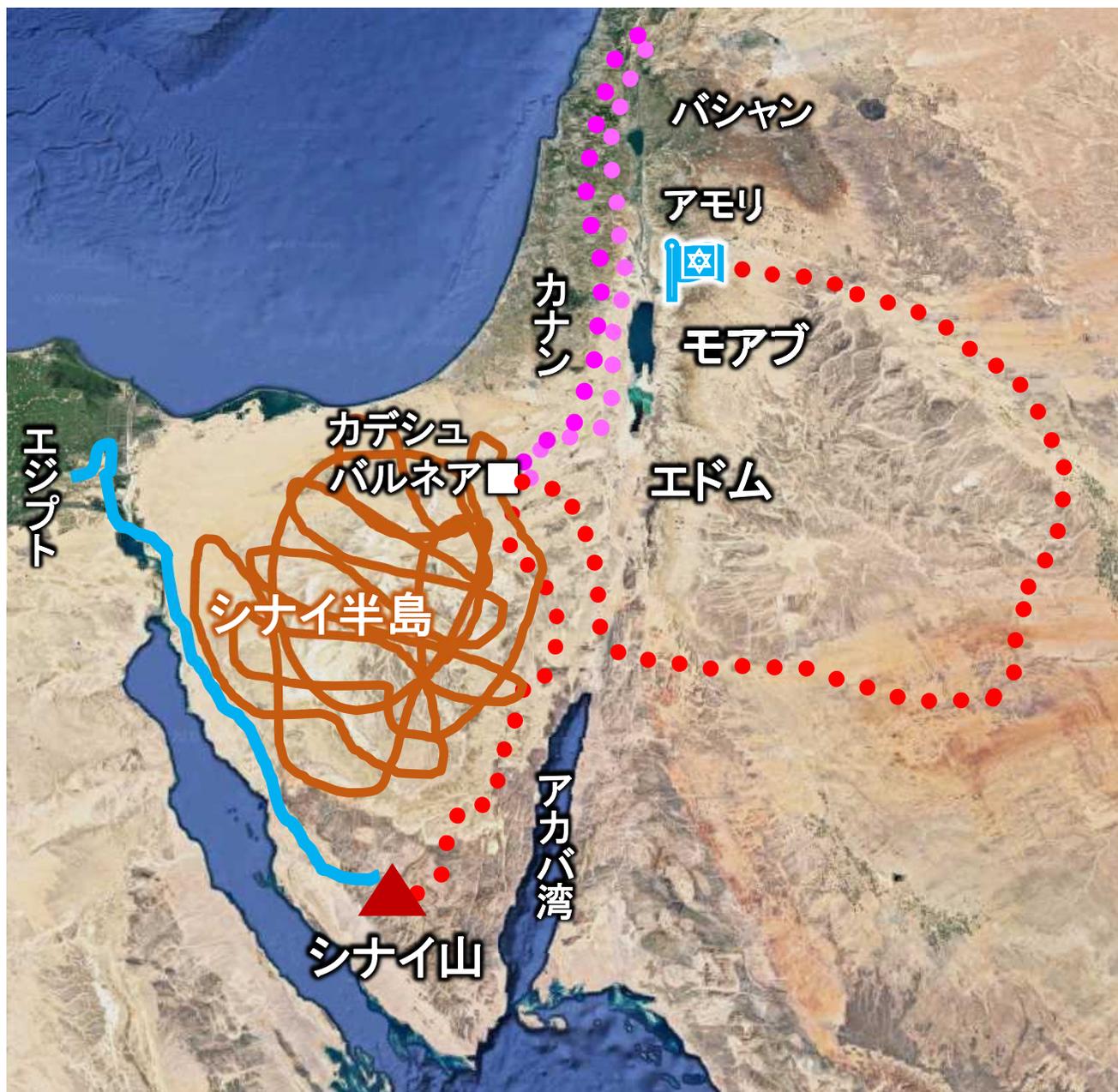
【荒野の40年】

■カデシュ・バルネア事件

イスラエルは、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えることとなった。

■ エジプトから約束の地まで、歩いて10日ほどの距離をイスラエルは、40年放浪した。

■ ヨルダン川の東まで、イスラエルはやってきた。



【モーセの律法 十戒とは？】

★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項
(出20:1～申28:68)

★モーセの律法の七つの特徴

- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。

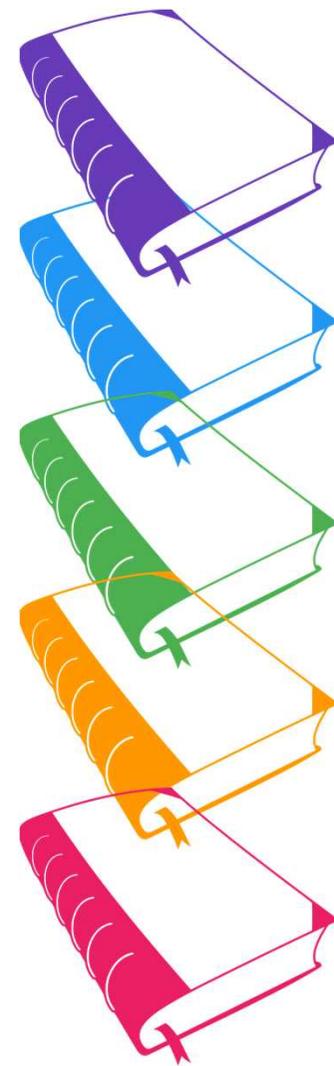


律法は、条件付き契約

従えば、祝福。破れば、呪い

【モーセ5書の内容】

- 創世記 (「エデン契約」「アダム契約」「ノア契約」「アブラハム契約」)
...天地創造から、アブラハム⇒イサク⇒ヤコブまで。
- 出エジプト記 (「シナイ契約」・十戒)
...モーセ誕生。エジプト脱出。律法授与。幕屋の完成。
- レビ記 (三大祭)
...律法。主に祭儀と清めの条項。民の学びの期間。
- 民数記 (カデシュ・バルネア事件)
...点呼、出発。民の過ちと神への反抗。40年の放浪へ。
- 申命記 (「土地の約束」)
...40年の荒野放浪後。新世代への信仰継承。
モーセの遺言。律法全体の総まとめ。



【申命記・アウトライン】

I. 過去の回顧 1～4章

ホレブ山地からヨルダン川東岸まで 1～4章

II. 律法の解説 6～11章

① 十戒 5章

② 主要な規定(シエマ6:4～5) 6～11章

③ その他の諸規定 12～26章

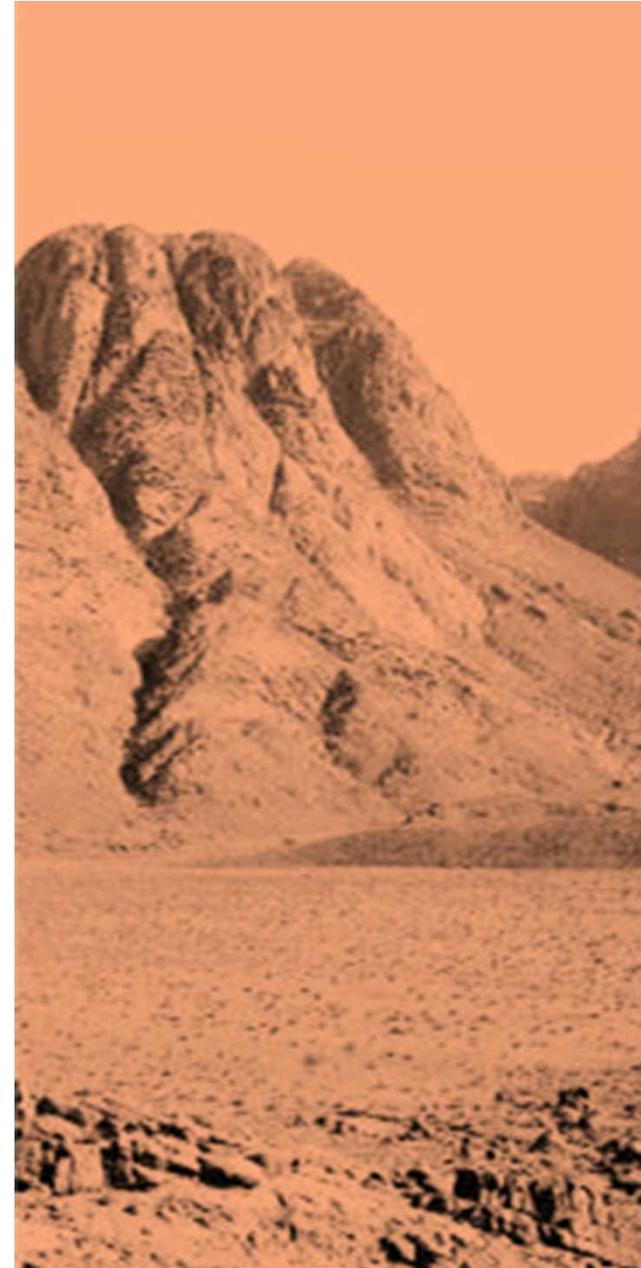
III. 未来の展望 27～30章

① 祝福と呪い 27～28章

② 「土地の契約」 29～30章

IV. 指導者の交代 31～34章

モーセからヨシュアへ



I. ただ一つの神の宮

申命記12章1～28節



【イスラエルの掟と定め】 申12:1

これは、あなたの父祖の神、【主】があなたに与えて所有させてくださった地で、あなたがたがその土地に生きるすべての日々に、守り行わなければならない掟と定めである。

■ 守り行おうべく、イスラエルに与えられた**律法**。

新世代に向けて、**律法の諸規定**が告げられていく。

■ 律法は、王なる神と結んだ条件付きの契約であり、守れば祝福、破れば呪いがある。

約束の地においても、律法がアメとムチとなり、民を導く



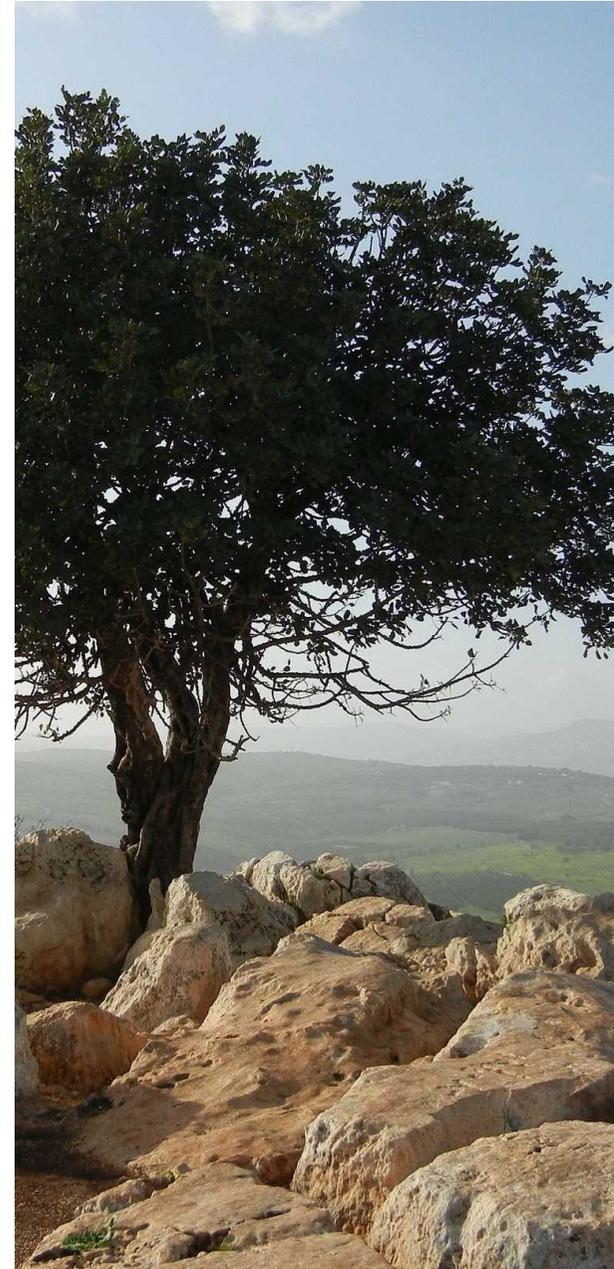
【偶像礼拝の禁止】 申12:2～4

- カナン人は、「高い山の上」「丘の上」「木の下」に、石や木で偶像の祭壇を築き、崇めていた。
- アシェラは、男神バアルと対になる女神。豊穡の神であり、神殿娼婦など性的儀式と結びついていた。

12:4 あなたがたの神、【主】に対しては、そのように礼拝してはならない。

- 偶像礼拝は、人の様々な欲望が形になったもの。
→ 究極の偶像礼拝は、自分自身を神とすること。

カナンの偶像を完全に排除することが至上命題!!



【ただ一つの礼拝の場所】 申12:5～14

12:14 ただ【主】があなたの部族の一つのうちに選ばれる場所で、あなたは全焼のささげ物を献げ、そこで、私があなただに命じるすべてのことを行いなさい。

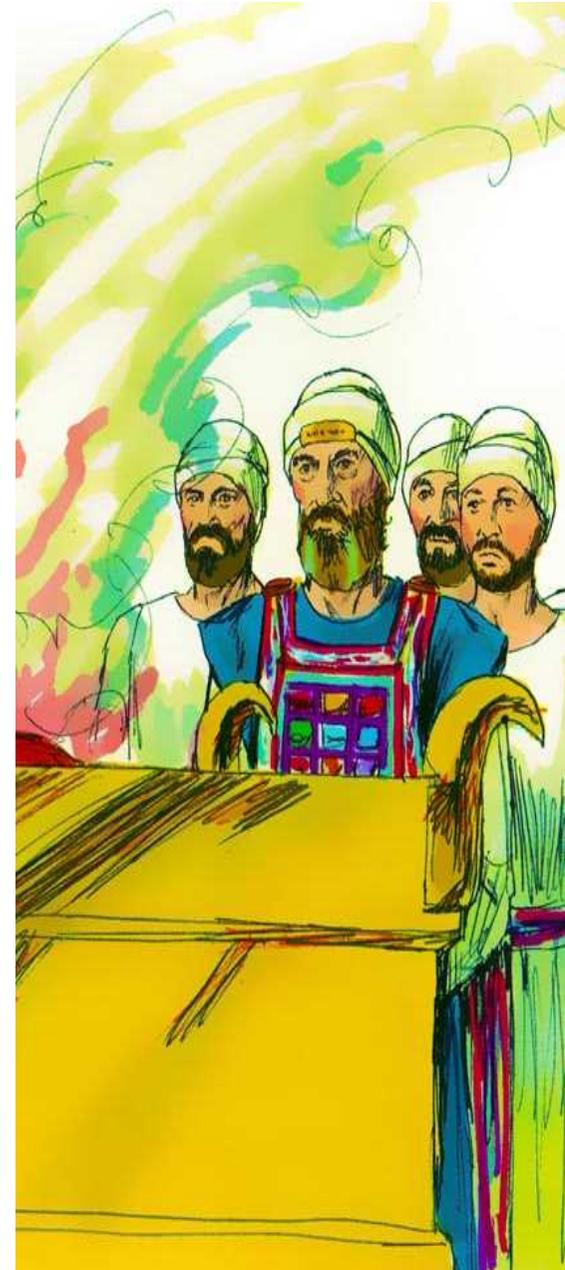
- 荒野では、ささげ物のあり方もゆるかった(申12:8)。
 - ➡ 律法の多くは、約束の地での生活を前提としたもの。
カナン征服を果たした後は、律法厳守が求められる。
- 律法の時代、礼拝の場は幕屋(神殿)だけに限られる。
 - ➡ 民は、感謝のささげ物の後、恵みを喜び、楽しんだ。
- 神の定めた方法、場所で行うのが、正しい礼拝。
 - ➡ 「自分の目にかなうこと(12:8)」は、大きな罪。
- 家族、奴隷、相続地のないレビ人とささげ物を分かち、
 - ➡ 「主の前で喜び楽しむこと(12:12)」を命じられた。



【約束の地でのささげ物】 申12:15～28

- 荒野では、動物を屠る場所は幕屋に定められていた。
- 約束の地の日常では、どこでも屠り、誰とでも食べることをゆるされた。
- 約束の地では、食べたいだけ肉を食べてよい(12:20)。→ 血を食べることは禁じられた。
命を示す血は、神に返すべきもの。
- ささげ物は、聖所で食べなければならない。
祭りと誓願のささげ物は、聖所でしかゆるされない。

12:18 あなたの神、【主】の前で、あなたのすべての手のわざを喜び楽しみなさい。





Ⅱ. 死を招く偶像礼拝

申命記12章29節～13章

【偶像礼拝の罠への警告】 申12:29～32

12:30「これらの異邦の民はどのように神々に仕えたのだろう。私もそうしてみよう」と言って、彼らの神々を求めることのないようにしなさい。

12:31 ...彼らは【主】が憎むあらゆる忌み嫌うべきことをその神々に行い、自分たちの息子、娘を自分たちの神々のために火で焼くことさえした*のである。

12:32 あなたがたは、私があなたがたに命じるすべてのことを守り行わなければならない。これにつけ加えたり減らしたりしてはならない。

■ 約束の地での偶像礼拝の禁止が、再度、厳命。

* モレク神への人身供養。 ...最も忌まわしい儀式



偶像礼拝が、
墮落の一步

【偽預言者・夢見る者】 申13:1~5

- 預言者、夢見る者の誘惑への警告がされる。
 - * 夢見る者 → 夢で偶像神の神託をする者。
- サタンや悪霊も、ある程度まで奇跡を行える。
 - エジプトで、血、カエルを出現させた。
- 偽預言者は、神の民が最も警戒すべき相手。
 - 偽の奇跡、偽りの預言で惑わし、神に背かせる。
- 偽預言者、夢見る者には、死が厳命される。

13:4 あなたがたの神、【主】に従って歩み、主を恐れなければならない。主の命令を守り、御声に聞き従い、主に仕え、主にすがらなければならない。



その言葉は、
聖書と一致しているか？

【家族、友人からの誘惑への警告】 申13:6～11

■ 家族、友人を通じた偶像の誘惑が警告される。

「13:6～7 これはあなたも先祖たちも知らなかった神々で、地の果てから果てまで、あなたの近くにいる、あるいはあなたから遠く離れている、あなたがたの周りのあらゆる民の神々である。」

* 知らない ➡ 体験的に知らないということ。

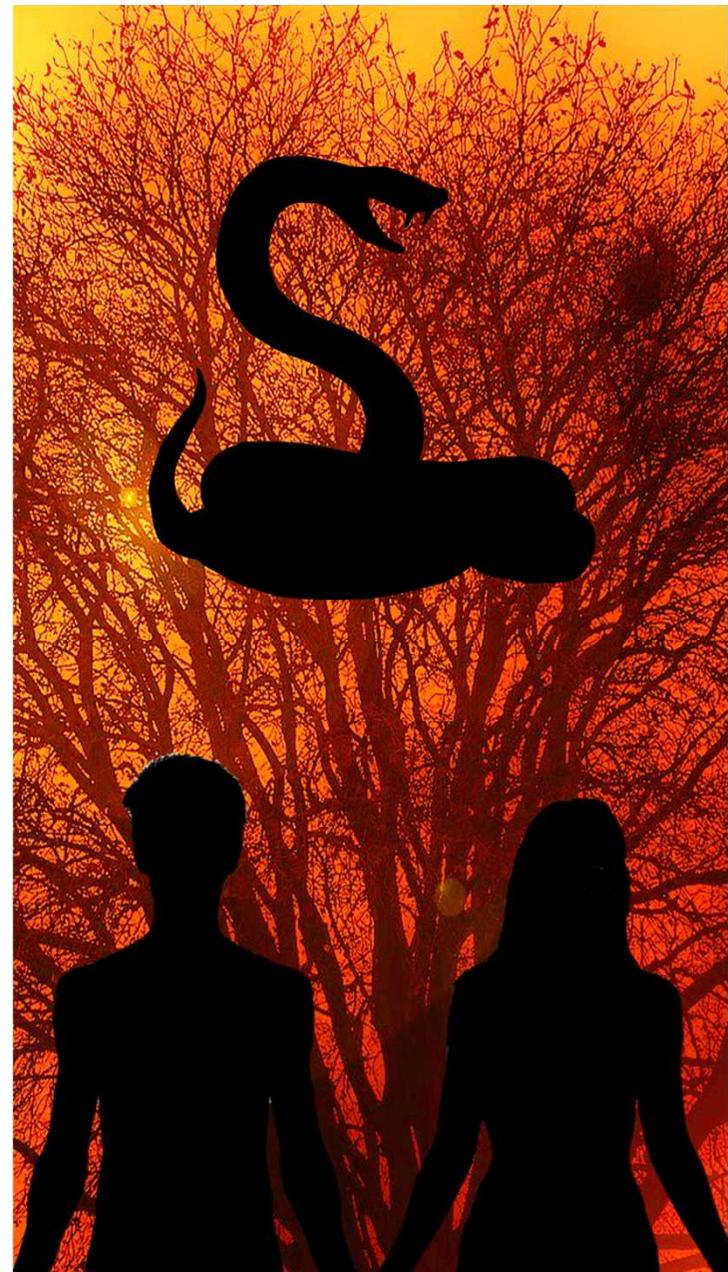
■ 体験したことのない欲望は、人を魅惑する。

➡ 罪の始まりは好奇心。エデンの最初の罪も。

■ 偶像礼拝に陥り、同胞を誘惑する罪は重い。

➡ 容赦なく、石打刑による死罪が下される。

■ その死刑が、イスラエルへの戒めとなる。



【よこしまな者たち】 申13:12～18

■「よこしまな者(13:13)」は、民を偶像に誘惑する指導者。

■偶像礼拝の欲望に飲まれた民は、町ごと裁きの対象。

13:15 あなたはその町の住民を必ず剣の刃で討たなければならない。その町とそこにいるすべての者、その家畜も剣の刃で聖絶しなさい。

* 聖絶 ...すべてを主へのささげ物とする神の裁き。

■町の全員が殺され、町ごと燃やし尽くされる。

13:17 それは【主】が燃える怒りを収めて、あなたにあわれみを施し、あなたの父祖たちに誓ったとおりに、あなたをあわれんで、あなたを増やすためである。

■それでも懲らしめの背後には、神の憐れみがある。



Ⅲ. きよさとけがれ

十分の一のささげ物

申命記14章



【異教の死者の儀式の禁止】 申14:1~2

あなたがたは、あなたがたの神、【主】の子どもである。
死人のために自分の身を傷ついたり、また額を剃り上げたり*してはならない。あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民だからである。【主】は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の宝の民とされた。

*カナンでも行われていた葬儀に伴う儀式。

- 生きている者の生活が、死者に囚われてはならない。
 - ➡ 人を、死と滅びに縛り付けようとするものだが、すべての死者は、神の完全な支配下にある。
- 死者が、正者に影響すると教えるのは、悪魔の業。
 - ➡ 神は、死の呪いから解放するため、民を選ばれた。



【きよさとけがれ・食物規定】 申14:3～21

■ 共に食すことは、契約にも用いられる、交わりのしるし。

➡ 食物規定によって、異教徒との交わりを自ずと制限。

■ 食物規定は、イスラエルに「**聖なる民**」の自覚を促す。

➡ 異邦人とイスラエルを区別。神による区別が、「**聖**」

■ 食物規定自体が、**きよめとけがれを教える視覚教材!!**

➡ 地(海も)は、人の罪によってけがれている。

罪の結果が死。死体も、けがれている。

けがれたものに直に接触する動物は、けがれている。

(例)ひづめ、うろこがない。屍肉を食べるなど...

「あなたは子やぎをその母の乳で煮てはならない。」

➡ カナンの宗教的習慣。現在の口伝律法の元に!!



「神の定めだから従う」のが大原則

【十分の一のささげ物】 申14:22～29

■聖書の定める3種類の什一献金

①レビ人を支えるためのもの(民18:21～32)

➡ 収穫の十分の一

②主の祭りのためのもの(申14:22～27)

➡ ①をささげた残り9/10の十分の一

③貧しい人のためのもの(申14:28～29)

➡ ①②とは別？ 3年ごとに十分の一を町の外へ。

レビ人、寄留者、孤児、やもめの食糧になった。

■十分の一のささげ物への祝福

14:26 あなたの神、【主】の前で食べ、あなたの家族とともに喜び楽しみなさい。14:29 それはあなたの神、【主】があなたのすべての手のわざを祝福してくださるためである。



労働の恵みを
味わうようにと!!

IV. 負債の免除 奴隷の解放

申命記15章



【7年目の負債の免除】 申15:1～11

「七年の終わりごとに、負債の免除をしなければならない。」

- 土地を休ませる安息年(出23:10～11,レビ25:1～7)とは別。
- この規約が守られれば、約束の地に貧しい者はいない、はず!!。
イスラエルに貧しい者がいる。➡ 律法が守られていない!!

■ 免除の7年目が近づいていても、貸し渋りをしてはならない。

➡ 返済の義務は当然のこと。律法には記していない。

■ 律法が何より強調しているのは、「神の恵み」

➡ 恵みの律法を実行するものは、神の豊かな祝福を得る。

「15:11 貧しい人が国のうちから絶えることはないであろう。

それゆえ私はあなたに命じる。」

➡ 主は、民の罪が消えないことを承知の上で命じられる。



惜しまず 献げる者に
増し加えられる祝福

【7年目の奴隷の解放】 申15:12～18

もしあなたの同胞が、あなたのところに売られてきて六年間あなたに仕えたなら、七年目には自由の身として、あなたのもとから去らせなければならない。

■ 解放時には、十分な財を持たせるよう命じられた。
➡イスラエルは、エジプトの奴隷から解放された!!

■ 自発的に奴隷として残る道も与えられた。

「きりを取って、耳を戸に刺す(15:17)」ことがしるし。

■ 自発的奴隷は、受難の僕メシアの姿に重なる。

「マタイ 11:29 あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。」

クリスチャンもまた、主の自発的奴隷



【初子の聖別】 申15:19～23

- 初子についての最初の記述は、出13:11～15。
- 初子は、神のもの。使役にも食用にもできない。
初子は必ず、自分の手から放さなければならない。
- 初子は、決められた時、場所にささげる。
➡ ささげた肉は、食べることができる。
- 欠陥があれば、いけにえにはできない。
➡ その肉は普通に食べることができる。

★ 負債の免除、★ 奴隷の解放、★ 初子の聖別。

どれも、民に出エジプトを思い起こさせるもの。

➡ “神がまず、救いの御業をなしとげてくださった。”

先立つ神の恵みを味わうことが、求められている。



V. 三大祭

申命記16章



【イスラエルの祭り】

- 祭りの順序(レビ記23章)。ささげ物(民数記28,29章)。
申16章では、新世代に、祭りの原則が確認される。

【①過越祭】 申16:1～8

- 出エジプトを記念する祭り。
- 急いで出たことを種なしパンで覚える。
- 最後の災いを免れた子羊の犠牲を覚え、ささげる。
→その場所は、幕屋(神殿)でなければならない。
- 過越祭(1日)に続く7日間は、種なしパンの祭り。

★メシアは、過越祭に、罪なき子羊として十字架にかけられた。種なしパンも、罪なきメシアを示す。

過越祭が示すのは、
メシアの十字架と復活



【②七週の祭り・五旬祭】 申16:9～12

(※ペンテコステは、“50日”を示すギリシャ語から。)

■七週の祭りは、豊かな収穫の感謝の祭り。

過越祭(大麦の収穫) ➡ 七週の祭り(小麦の収穫)

■モーセによる律法の授与を記念する祭りともなった。

「あなたはあなたの息子、娘、男女の奴隷、あなたの町囲みの中にいるレビ人、あなたがたのうちの寄留者、孤児、やもめとともに、あなたの神、【主】の前で、あなたの神、【主】が御名を住まわせるために選ばれる場所で喜び楽しみなさい。」

五旬祭は、教会誕生

★七週の祭りに弟子たちに聖霊が降り、教会が誕生!!



【③仮庵祭】 申16:13～17

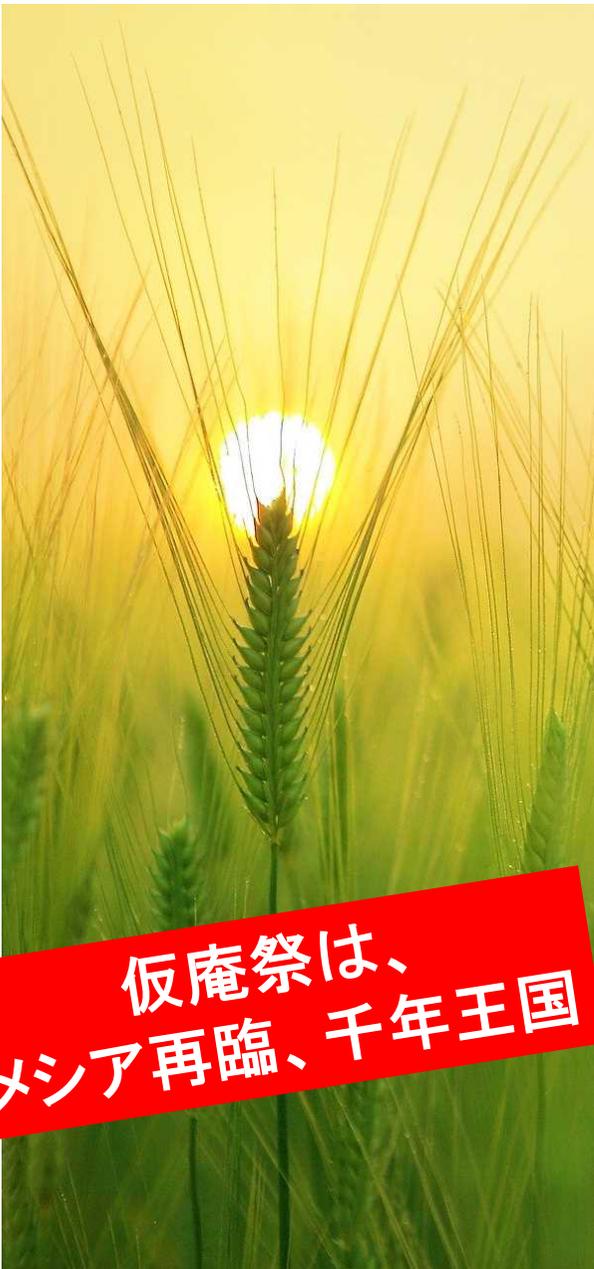
■ 秋の収穫の後、7日間の仮庵祭が祝われた。

■ 仮小屋を建て、荒野での神の守りを覚えた。

16:14～15 この祭りのときには、あなたも、あなたの息子、娘、男女の奴隷、あなたの町囲みの中にいるレビ人、寄留者、孤児、やもめとともに**喜び楽しみなさい**。あなたの神、【主】のために、【主】が選ばれる場所で七日間、祭りをしなければならない。あなたの神、【主】があなたのすべての収穫、あなたの手のすべてのわざを祝福されるからである。**あなたは大いに喜びなさい**。

★ 仮庵祭が示すのは、メシアの再臨、神の国の建設。

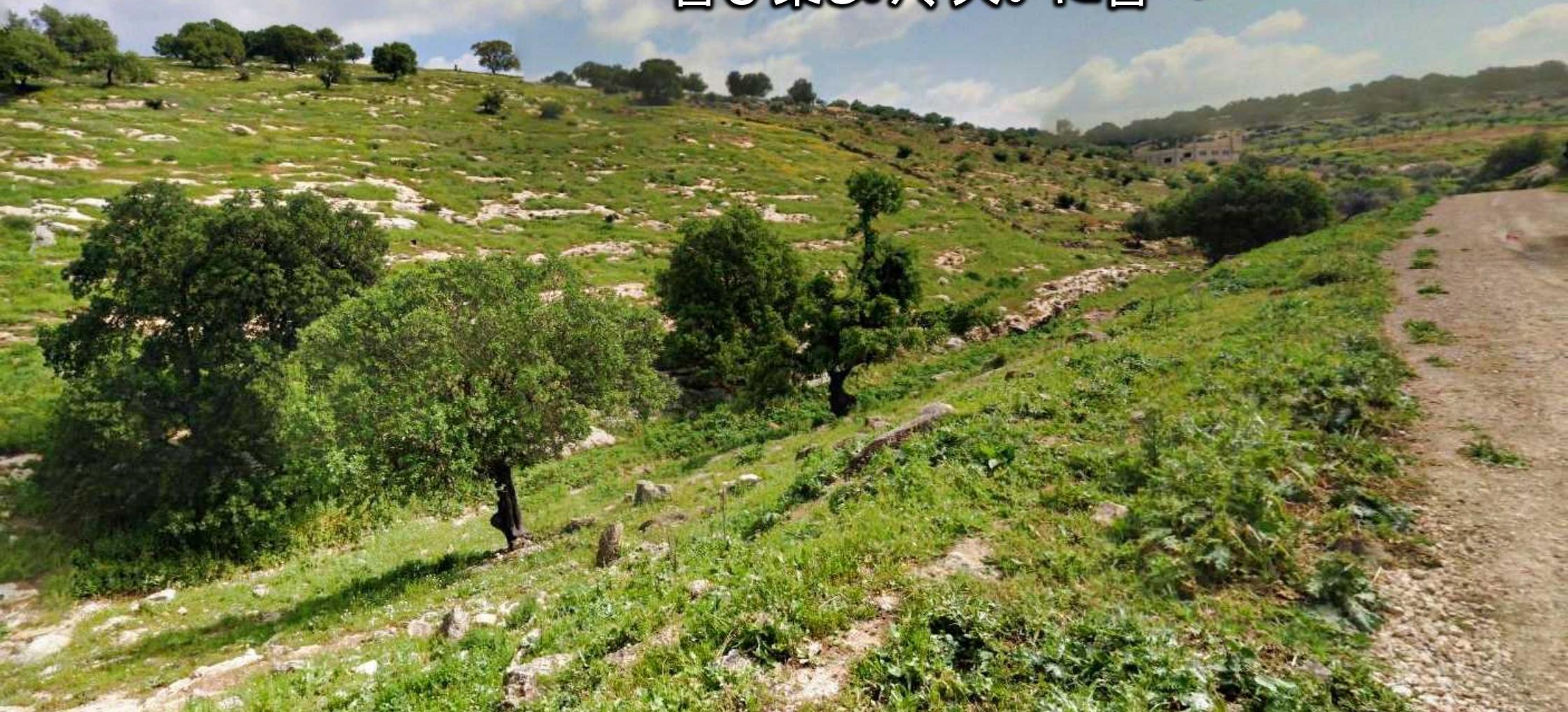
➡ だからこそ、“大いに喜びなさい”と命じられる!!



仮庵祭は、
メシア再臨、千年王国

Ⅵ. まとめと適用

律法も恵みだと知ろう
喜び楽しみ、大いに喜べ



【申命記12章から16章のキーワードとは？】

「あなたの神、【主】が祝福してくださった、あなたがたのすべての手の
わざを喜び楽しみなさい。申命記12:7」

* 喜べ(サマー) ...申命記に10回。申命記12～16章に、6回。(詩篇に52回)
(申12:7、12:12、12:18、14:26、16:11、16:14)

■ 律法の遵守によって、神がイスラエルに求めているのは、**喜ぶこと!!**

■ そして、メシア再臨を示す、仮庵祭の呼びかけは、「**大いに喜べ**」

* 直訳すれば、「**喜びそのものになりなさい**」「Be Joyful !!」

【律法に示され、約束された、主の恵みを喜ぼう!!】

「あなたの神、【主】があなたのすべての収穫、あなたの手のすべてのわざを祝福されるからである。あなたは大いに喜びなさい。申16:15」

■イスラエルは、罪のゆえに、律法を守り通すことができなかった。
私たちもまた、自分では解決できない罪の性質を抱えたまま。

■しかし、主イエスが、私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、死を打ち破って復活された。
天におられる主イエスは、再臨され、この地上に神の国を建てられる。
すべての信者は復活し、永遠の命を生きる。もはや苦しみも病もない。

■この確かな約束のゆえに、大いに喜びなさいと主は命じられる。

【私たちに、何より求められているのは、主の恵みを喜ぶこと】

■ 律法は条件付き契約。選びの民に祝福と呪いをもたらすもの。

律法を破ったイスラエルは、厳しい裁きと懲らしめを受けた。

しかし、この律法ですら、その本質は、神からの一方的な恵み。

■ 律法が示すメシアは来られ、御業を成し遂げられた。

今、恵みの時代に、すべての人が求められているのは、喜ぶこと。

■ 福音を信じ、罪ゆるされた、その救いの御業にあずかろう。

日々、突きつけられる罪の中でむしろ、主の憐れみと恵みを知ろう。

「詩篇 14:7 ああイスラエルの救いがシオンから来るように。

【主】が御民を元どおりにされるときヤコブは樂しめ。イスラエルは喜べ。」

「天のお父さま。

わたしは、御子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

律法がしめすメシアは来られ、そのみ業をなしとげられました。

福音を信じたすべてのものに、永遠の御国が約束されています。

日々罪になやまされる私たちを、主よ、あなたが、はかりしれない

恵みの内に招いてくださっています。今、ぞんぶんに味わわせてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン」